

評価項目	No.	質問項目	評価の分布状況										ポイント (1~4点)	評価
			0%	10%	20%	30%	40%	50%	60%	70%	80%	90%		
独自	1	学校は、主体的・対話的で深い学びをとおして児童の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。											3.21	B
	2	学校は、副担任制度を活用し、指導の充実に努めている。											3.18	B
	3	学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、家庭や地域との連携について努力している。											2.96	B
組織運営	4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。											3.07	B
	5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。											3.04	B
	6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制											3.36	B
学力向上	7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。											3.21	B
	8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。											3.32	B
	9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行う											3.21	B
	10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めてい											3.54	A
豊かな心の育成	11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよ											3.00	B
	12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。											3.07	B
	13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。											3.07	B
の健康上・体力	14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。											3.43	A
	15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。											3.32	B
と保護者・協力	16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に											3.25	B
	17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。											3.79	A
	18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。											3.32	B

学校名	新座市立東北小学校
実施日	平成31年1月18日

<記入の仕方>

○「自己評価」及び「学校関係者評価」の欄には、A～Dを記入してください。

○「自己評価についての説明」の欄には、その評価に至った理由及び自己評価の結果を学校がどのように受け止めるかを明確にしてください。

評価項目「独自」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
1	学校は、主体的・対話的で深い学びをとおして児童の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	・校内研修をとおして、アクティブ・ラーニングの考え方、授業の進め方等よく理解することができており、実践につながっている。	B	先生方の多忙化が言われる中でも、授業改善に努力されている。授業参観で子どもたちがよく学んでいる姿からもうかがえる。
2	学校は、副担任制度を活用し、指導の充実に努めている。	B	・課題のある学級への対応が後手になってしまいました。課題を分析し、フォローの体制をきちんと整えておいて、来年度に備えるべき必要がある。 ・副担任の先生を学年一人おけない状況であれば、ブロックに1名の配置があるといい。	B	学校力を高めることは、どの学校でも求められる課題である。限られた教職員数の中で、学級担任中心になりがちな小学校ではあるが、チーム力を高める組織になるよう工夫し、子どもの学びの環境につなげることを期待する。
3	学校は、オリンピック・パラリンピック教育を推進し、家庭や地域との連携について努力している。	B	・今年度オリンピック・パラリンピック教育の充実が不十分であったため、研修をとおして学ぶ機会をふやし、掲示物等の充実を図っていきたいと考えている。	B	オリンピック・パラリンピック教育の推進は、新たな取り組みであり、子どもたちにとっても未知な領域です。たくさんの方の力を吸収し、成長につながることを期待できるので、機会をとらえて取り組んでほしい。

評価項目「組織運営」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
4	学校は校務分掌や主任制を適切に機能させるなど、組織的な運営・責任体制を整備している。	B	・校務分掌に関しては、分担するための時間や、必要なときの部会を開く時間が限られているので、時間の確保と部会で効率よく、しっかり検討する。	B	日ごろから組織的な運営に取り組むことで、先生方に時間的な余裕を生み出すとともに学校力を一層高めてもらいたい。
5	学校は経営方針を具現化するために、学校評価の実施等を通じて、PDCAサイクルに基づく学校経営を行っている。	B	・学校経営方針が十分に浸透しておらず具現化することができていない状況がある。今後は、PDCAサイクルを十分に生かして、学校経営を行っていく。	C	どんな組織でも、目指す方向を構成員が理解を深め共有しながら運営されることで、目標達成に近づくと考えられる。また、生きた学校評価にするためには、学校評価委員会の活動も充実させ、学校運営組織や教育活動などの評価と改善を確実に図るといった共通認識で取り組んでいただきたい。
6	学校は事故や不審者の侵入等の緊急事態発生時に適切に対応できるよう、危機管理マニュアル等を作成し、迅速に対応できる体制を整えている。	B	・不審者の対応訓練等定期的に行い、不審者侵入に対する危機管理マニュアルを定期的に見直している。	B	想定できないことも多くあるので、実地訓練・不審者対応・外部機関との連携なども計画的に取り組まれることで、体制の強化につながるのではないかと。

評価項目「学力向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
7	学校は、児童生徒が学習内容の理解を深めることができるよう、学習ルールを定め、それに基づいた授業を展開している。	B	・校内でルールや規律を設定し統一をしているが、一つ一つのことが、若手にどこまで理解され、実践されているのか難しい。	B	授業を参観していると、どのクラスも熱心に授業をされ、子どもたちも落ち着いてよく学んでいる。6年間の小学校教育では、学びの姿勢がぜひ身につくよう、学年・低中高・全学年など発達段階を踏まえながら、先生方の共通理解を深め指導を継続してほしい。
8	学校は、各教科の指導において言語活動を重視した授業を展開し、児童生徒の思考力・判断力・表現力等の育成に努めている。	B	・子供たちは、積極的に意見交換をしながら授業に取り組んでいる。話し合いを中心に授業展開を行っているが、学力差が大きく、思考判断育成の時間がなかなかとれない。	B	授業参観で子どもたちの発表や子供同士の意見交換などを図る授業が多くみられ、先生方の意図・ねらいが反映されている。また、子どものノートやプリント、宿題などからも工夫されていることがわかる。

9	学校は学習指導要領や県編成要領、新座市指導の手引きに基づき、児童生徒の発達の段階や学力、能力に即した学習指導を行っている。	B	・新学習指導要領への移行期であることを十分に意識し、子供たちに身に付けさせるべき力を常に考え授業に取り組んでいるが、教員による意識差や指導力の差がみられる。	B	国や県の学力調査でも、子どもたちの学力をしっかりと身につけている。さらに確実な学力がつかうように指導をお願いしたい。
10	学校は、英語(英会話)の授業の充実するなど、グローバル化に対応できる児童生徒の育成(国際理解教育の推進)に努めている。	A	・英語専科教員を配置していただいております。指導力の向上と、英会話の授業の充実がなされている。	A	英会話を含め子どもたちが、コミュニケーション能力を高めながら、楽しく学んでもらいたい。また、異文化や共生などの理解を進め、グローバル化に対応する子の育成にも努めていただきたい。

評価項目「豊かな心の育成」

No.2

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
11	学校は、児童生徒が友達や教職員・来校者に進んであいさつをしたり、「です、ます」をつけるなど、場に応じた言葉遣いができるよう指導し、成果をあげている。	B	・「あいさつ」「はい」「ありがとうございます」をきちんとできるように指導の徹底をはかっているが、返事や挨拶が少なく成果は上がっていない。特に、朝会での「はい」の返事が小さいのが気になる。	B	年間を通じて創意工夫しながら継続的な取り組みが必要なところ。言葉遣いは、教職員自ら範をしいていくことが、子どもたちへの教育効果も高いと思います。また、家庭での指導も深く関係するので、保護者への啓発も必要と考える。
12	学校は、児童生徒がいじめや意地悪な行為をすることなく、お互いの良さや努力を認め合って学校生活を送れるような環境を整備している。	B	・各クラス真剣に取り組んでいる。いじめを認知している学級もあり、伸び伸びと成長している反面、感情を抑えられずにいる様子もある。いじめ防止対策委員会を開き対応を協議している。	B	いじめの状況を校内で共通理解が図られ、保護者・関係機関とも連携しながら取り組んでいることがわかる。「いじめを見逃さない」という教職員の行動、学級担任だけでなく複数の目・多数の目で見守ること、カウンセリングマインドで児童理解を深めながら安心して学校生活を送れるようにしていただきたい。
13	学校は教職員自らが手本となり、児童生徒に対して規律意識を高める指導を行っている。	B	・教員はあいさつ、廊下歩行など、もっと手本となる言動をしていく。	B	教職員への地域からの期待は大きいので、ぜひその職責をしっかりと自覚し指導していただきたい。来校者にも積極的に挨拶をすることも、児童へのよいお手本になる。

評価項目「健康・体力の向上」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
14	学校は、児童生徒が体力向上に向け、体育や部活動・休み時間などにおいて意欲的に取り組めるよう指導に当たっている。	A	・朝マラソンは、体力向上カードを活用し、児童の意識を体力向上に向けているが、参加率が低いので、もっと声かけしていく。	A	地域スポーツに係る側からすると、体力向上の成果があがっていると思う。今後も継続的に取り組んでほしい。遊びを通じて、体を動かす楽しさや気持ちよさを経験させるように、校庭で思いきり遊ぶ習慣も身に付けられるようにしていただきたい。
15	学校は、食に関する意識を高める食育に取り組むなど、計画的に健康教育を推進している。	B	・「残さず食べよう」年間、根気強く指導している。 ・食育を進めるため、給食指導を徹底させることが大切である。学級によっては、給食のルールなどを見直ししていくことが重要。	B	給食を通じて、食育にしっかり取り組んでいる。これからは続けてほしい。また、食育は、学校だけでなく家庭との連携も積極的に図りながら取り組んでほしい。

評価項目「保護者・地域との連携協力」

No.	質問項目	自己評価	自己評価についての説明	学校関係者評価	学校関係者評価についての説明
16	学校は、保護者や地域住民の意見を取り入れる機会を積極的に設け、学校に寄せられた具体的な要望や意見を把握し、適切に対応している。	B	・PTAが積極的に学校と関わりながら地域とも連携できている。一方で、コミュニティスクールとしての機能を果たしているのか十分に分からない。	B	活動によく取り組んでいる。これらの活動を通じて、学校・保護者・地域それぞれがコミュニティスクールとしての東北小学校の理念やビジョンを共有していくことが大事であると考えている。
17	学校は、学校だよりやホームページなどで、教育活動の様子や成果・課題などについて定期的に情報提供している。	A	・HPが毎日更新され、子供の様子や情報など内容も充実しており好評である。今後も続けていきたい。	A	学校からの情報発信が、きちんとされていることを評価する。学校の情報が保護者・地域で共有されることで、学校理解が深まり、信頼へとつながっていくものである。今後も教職員の連携を高め、校内の情報を知らせてほしい。
18	学校は、学校応援団組織を活性化させるとともに、保護者や地域と連携して声かけ運動、美化活動、不審者対策など、計画的に実施している。	B	・保護者の方々が積極的に応援団に関わり、学校を支援してくれている。一方、学校として応援団にお願いすることを精査しまとめていくことが必要である。	B	応援団として地域やPTAの活動が継続され、子どもたちにも様々な人との出会いや活動に潤いを与えている。子どもたちを共に育てていくという視点で、より一層活動を充実していきたい。